平成28年度

京都大学情報環境機構
サービスガイドブック

I I M C

情報環境機構のサービス

情報環境機構は、学術情報メディアセンターの支援のもと、京都大学におけるあらゆる活動を支えるために必要な高い安全性、利便性を備えた先端的な情報環境を構築、運営することを目指しています。 このガイドブックは、情報環境機構が学内外に対して行っている情報サービスの概略をまとめています。 学生、教職員の皆さまに京都大学の情報環境利用の際に守っていただきたい情報セキュリティ関係、ご利用いただける情報サービス、ソフトウェアライセンスの全学展開等について記載していますので、ご活用ください。

サービス案内

情報セキュリティ対策				**P2**
情報セキュリティを守るために必ず行うこと		学生	教職員	P2
禁止事項		学生	教職員	P2
情報セキュリティ e-Learningの受講		学生	教職員	P2
京都大学の情報セキュリティポリシーについて		学生	教職員	P2
パスワードの作り方		学生	教職員	P3
全学認証システムの概要				**P4**
京都大学から発行されるアカウント(ID)	学生アカウント(ECS-ID)	学生		P4
	教職員アカウント(SPS-ID)		教職員	P5
IC 学生証、認証 IC カード、施設利用証		学生	教職員	P5
全学情報システム			教職員	P5
認証ポータルサイト				**P6**
全学生共通ポータル		学生		P6
教職員用ポータル(教職員グループウェア)			教職員	P6
京都大学が提供している全学メール				**P7**
学生用メール― KUMOI(くもい)―		学生		P7
教職員用メール― KUMail (くまいる)― 文書共有ツール　KUMail ストレージサービス			教職員	P7
生涯メール		学生		P7
ネットワークの利用(京都大学学術ネットワークシステム(KUINS：くいんず))				**P8**
KUINS-Ⅱ接続 ―サーバをインターネットにつなぐ―			教職員	P9
KUINS- Ⅲ接続 ―パソコンをインターネットにつなぐ―			教職員	P9
VPN サービス ―学外から学内限定のネットワークにつなぐ―				P10
無線 LAN 接続サービス ―学内者向けの KUINS-Airと学外者向けの eduroam ―		学生	教職員	P11
ビジター用アカウントサービス ―一時来訪者にネットワーク環境を提供する―			教職員	P11
認証付き情報コンセントサービス ―共用スペースでネットワークを利用する―			教職員	P12
教育用コンピュータシステム				**P13**
PC 端末の利用― OSLや部局サテライト演習室のパソコンを利用する ―		学生	教職員	P13
オープンスペースラボラトリ(OSL)、サテライト演習室の設置場所				P14
プリンタサービス ―課題、レポート等を印刷する―		学生	教職員	P15
授業用ソフトウェアのインストール			教職員	P15
共有フォルダの提供		学生	教職員	P15
教育コン・一時利用アカウントの発行 ―公開講座、セミナーなどで教育用コンピュータを利用する―			教職員	P15
遠隔デスクトップサービス		学生	教職員	P15
遠隔講義、遠隔会議を行う			教職員	P16
学習支援システム(PandA)		学生	教職員	P16
スーパーコンピュータシステム				**P17**
スーパーコンピュータを利用する		学生	教職員	P17
アプリケーションソフトウェアを利用する		学生	教職員	P17
大判プリンタを利用する		学生	教職員	P17
ホスティングサービス				**P18**
VM ホスティングサービス ―管理者権限付きの専用サーバを利用する―			教職員	P19
Web ホスティングサービス ―サーバを管理することなくホームページを公開する―			教職員	P19
ハウジングサービス				**P20**
サーバをデータセンターに預ける			教職員	P20
その他				
メールホスティングサービス―メールホスティングサービスを利用する―			教職員	P21
eラーニング研修支援サービス―研修をeラーニング化する―			教職員	P21
コンテンツ作成支援サービス―コンテンツ作成の支援を受ける―			教職員	P22
iPadペーパレス会議システム―iPad ペーパレス会議システム(ECO Meeting)―			教職員	P22
ソフトウェアライセンス管理―ソフトウェアライセンスを管理する・ソフトウェアのライセンス契約サポート―			教職員	P23
情報環境機構　施設案内				**P25**
学術情報メディアセンター北館・南館				P25

情報セキュリティ対策

情報セキュリティ対策 http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/ismo/	対象者　**学生・教職員**
	問い合わせ先　情報基盤課セキュリティ対策掛　i-s-office@iimc.kyoto-u.ac.jp

大学のセキュリティを守るためには、一人一人の心構えが何よりも大切です。特に、メールの添付ファイル、Web でアクセスするサイトにはマルウェアが隠されている可能性が必ずあります。マルウェアに感染しないように特にメールと Web は用心深く使ってください。また、ウイルス対策ソフトや OS、アプリケーションのアップデートは欠かさず行ってください。
京都大学全体のネットワークであるKUINS（後述8ページ）には、その出入り口に不正アクセス検知装置と呼ばれるセキュリティ監視装置が設置されていて、全ての通信を24時間365日監視しています。怪しい通信を発見すると、学内の通信先に安全確認を行い、日々インターネットから到来する様々なアタックに対処しています。
ただし、ネットワークを監視していれば、安全安心なのかというとそうではありません。インターネットはとても便利な道具ですが、セキュリティについては利用者一人一人が注意していないと、思わぬ事故（セキュリティ・インシデント）に巻き込まれる可能性があります。また、一人の不注意から大学全体が危機的状況に容易に陥ってしまう危険性もありますので、以下を必ずお読みいただき情報セキュリティ対策を行ってください。

情報セキュリティを守るために必ず行うこと

・情報セキュリティ e-Learning(下記)を受講すること。
・アカウント(ID)、パスワード管理の徹底。人に漏らさない、十分に強いパスワードの設定、定期的な変更など。
・コンピュータのＯＳやアプリケーションのセキュリティアップデートを行い、常に最新に保つこと。
・ウイルス対策ソフトを提供者との契約に基づいて利用し、パターンファイル等常に最新化すること。
・本学および所属学部・研究科等により定められた規定および利用する情報システムごとに定められた規定を遵守すること。

禁止事項

以下の情報の発信を行ってはなりません。
差別、名誉毀損、侮辱、ハラスメントにあたる情報、プライバシーを侵害する情報、守秘義務に違反する情報、著作権等の知的財産権を侵害する情報、その他法令に基づく処罰の対象となり又は、損害賠償等の民事責任を発生させる情報。

P2P ファイル交換ソフト*の利用について

・KUINS-III 接続環境では、利用禁止。
・KUINS-II 接続環境では、部局情報セキュリティ責任者（部局長）を経由して情報環境機構長に事前に届け出て許可を得ること。
・自分が著作権を保有しない著作物の配信に利用しないこと（著作権法違反に該当します)。
・違法配信されている情報はダウンロードしないこと（違法行為となります)。

*P2P ファイル交換ソフト：BitTorrent、LimeWire、Winny、Xunlei などインターネットを通じてファイルを不特定多数で共有することを目的としたソフトウェアのこと。

情報セキュリティ e-Learning の受講

京都大学では、全学情報セキュリティ委員会の下、情報や情報技術の安全で効果的な利用のために『e-Learning 方式での情報セキュリティに関する基本的なプログラムを習得』することがすべての構成員に義務づけられています。情報セキュリティ e-Learning は、情報セキュリティに関する基本的な知識を身につけていただけるよう、ネットワークに接続されたＰＣ端末で学習できるようになっています。次の URL にアクセスし、画面の指示に従って受講してください。
http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/ismo/e-Learning/index.html

京都大学の情報セキュリティポリシーについて

京都大学では、情報セキュリティを確保するため、詳細な情報セキュリティポリシーを定めています。情報セキュリティポリシーは「基本方針」と「対策規程」からなっており、これに基づいていくつかの実施規程を定めています。これらの規程類は下記の URL から参照することができます。
http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/ismo/use/regulation.html

情報セキュリティポリシーは、自由な行動を制限する面倒な規則と捉えられがちですが、それは間違った認識です。これらの規則を守って行動すればセキュリティ・インシデントに巻き込まれる可能性が低くなります。また、パスワードや無線 LAN アクセスポイントを設置する際のガイドラインなども定めていますので、ぜひ一度お読みください。

セキュリティに関する報告や相談は、先ずは各学部や研究科のセキュリティ連絡窓口、あるいは全学の連絡窓口であるセキュリティ対策掛までお願いします（アカウント通知書に同封されている「情報セキュリティミニガイド」もご参照ください）。

パスワードの作り方

京都大学により付与される ID とパスワードは、京都大学で情報環境を利用するために非常に重要なものであり、他人に知られると悪用され、思わぬ被害を被る可能性があります。「京都大学全学情報システム利用者パスワードガイドライン」に従って強いパスワードを作り、それを誰にも知られないように厳重に管理してください。
そうすることで、安全に情報環境を活用できます。強いパスワードを作るのはそれほど難しいことではありません。様々な文字（アルファベットの大文字、小文字、数字、記号など）を組み合わせて、できるだけ長いもの（8 文字以上）を作ってください。辞書にも載っているような簡単な単語の使用は禁物です。作り方を覚えておけば、忘れてもすぐに作り出せるので安心です。

KUINS ニュース No. 84　セキュリティコラム：セキュリティの話題から

第1回「パスワード、パスワード、パスワード！」
日本語で先ずはフレーズを考えます。あなたの好きな言葉で良いと思います。例えば、四文字熟語の「不言実行」。これをローマ字で書くと「fugenjikkou」。11文字になりました！　これにちょっとお化粧を加えて「FugenJikkou1234」とかすれば完璧です。これで15文字、文字種類も3種類入ったとても安全なPWが出来上がりました。最初の日本語フレーズは何でもかまいません。あなたの好きな詩の一節とか、家の中だけで使われている何かの呼び名とか。自分が普段良く使っている言葉を元にすれば忘れません。

Info! No.1 コラム　セキュリティの話題から

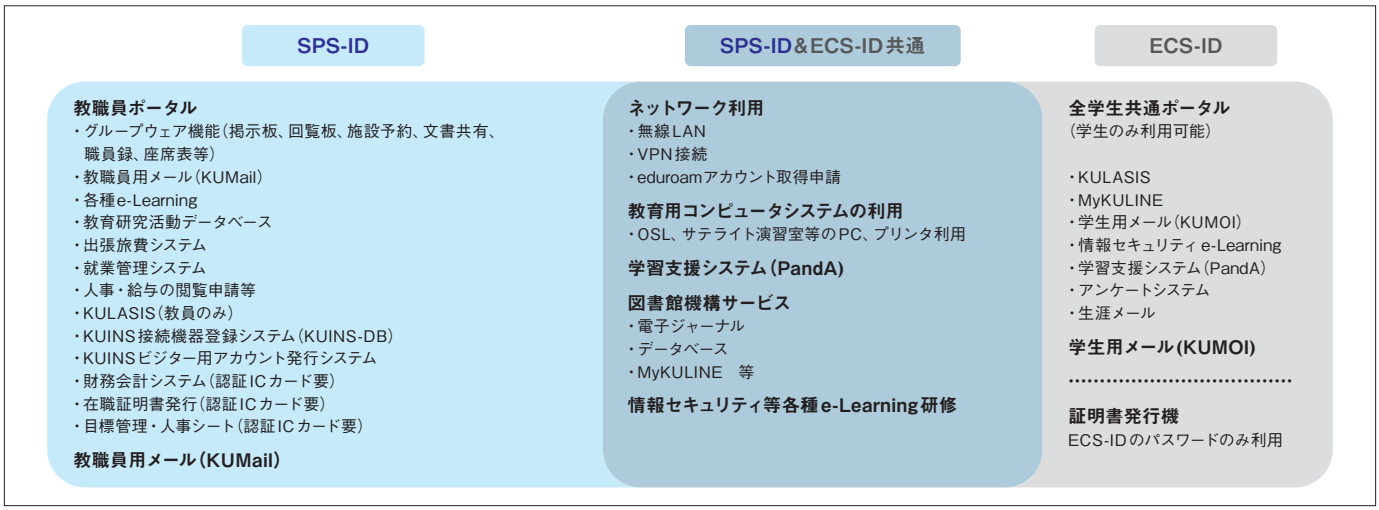
第2回「パスワード、パスワード、パスワード！（その2）
既に覚えやすい強力なPWを一つは持っているという前提で話します。このPWを「StrongPassword」と呼ぶ事にしましょう。サービスや目的毎に別のPWを作りたい時には、そのサービスや目的を端的に表す文字列（例えばFacebookだったらFBとか）を「StrongPassword」に付加すれば良いのです！簡単ですよね。
Facebookの例では、例えば「StrongPassword-FB」となります。どこに付加するか、間に記号などを入れるか入れないか自分なりのルールを決めて作ってください。サービス名や目的をどのように表すかもあなたの自由です。これはほんの一例なので、自分なりの工夫をしてみてください。さらにこれを3ヶ月に1回更新せよと言われたら、更新月を1月、4月、7月、10月と決めて、更新した年月情報を付加しましょう。例えば「StrongPassword-FB-1407」。年月の表記法も山ほどあるのでお好きな記法でどうぞ。こんな安易な決め方で良いの？と言われそうですが、同じPWを使い回すのよりは格段に安全性は高まります。

全学認証システムの概要

全学認証システムは、京都大学構成員が教育研究およびそれら業務に関する全学の情報システム等をより便利に安心してご利用いただくためのシステムです。
具体的には、個人認証のための全学 ID（ECS-ID、SPS-ID）又はICカード（電子証明書）を利用し、便利で安全なシングルサインオン認証を実現しています。
これらのサービスを支えているのが、電子証明書を発行する京都大学認証局、IDやパスワードの情報を保管している統合LDAP、学生証・認証ICカード等のICカードです。なお、統合 LDAP、Shibboleth認証連携システム、ICカードは部局でのご利用が可能です。

京都大学から発行されるアカウント（ID）

京都大学が発行するアカウントは、学生アカウント（ECS-ID）と教職員アカウント（SPS-ID）の2種類があります。
学生アカウント（ECS-ID）は、全学生に対して京都大学への入学時に発行されるアルファベットと数字を含んだIDです。
教職員アカウント（SPS-ID）は京都大学の教職員に発行される、姓名のアルファベットと数字を含んだIDです。
ECS-IDとSPS-IDは下図のような情報環境機構サービス以外にも、各部局提供のサービスにも使われています。利用できる部局提供のサービスについては、所属部局にお問い合わせください。



学生アカウント（ECS-ID）

http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/cert/ecs_id/

対象者	**学生**	学部生，大学院生，研究生，聴講生，科目等履修生，特別聴講学生，特別研究学生などの全学生
	その他	教職員アカウント（SPS-ID）が発行されない非常勤講師，名誉教授，招へい外国人学者，外国人共同研究者，学振特別研究員，学振外国人特別研究員，研修員，受託研究員，民間等共同研究員など
問い合わせ先	情報環境支援センター　support@iimc.kyoto-u.ac.jp	

ECS-IDの発行

学生の方

1．新規取得

4月又は10月入学の場合は、所属学部等（研究科、附置研究所、センターなどを含む）を通じて『学生アカウント通知書～京都大学のITサービスを利用するために～』を配付します。4月又は10月入学以外の場合は、所属学部等から発行された身分証明書を持ってお近くの窓口（次ページ参照）へお越しください。

2．利用停止と継続申請

卒業などにより学生の身分がなくなればECS-IDは停止します。学生アカウントの対象者に該当することとなる場合は、窓口で継続申請の手続きをしてください。

学生以外の方

1．新規取得

下記のいずれかの身分証をご持参のうえ窓口にお越しください。

・京都大学発行の身分証

・部局の長の公印付受入証明書
・日本学術振興会発行の身分証
・名誉教授の証

2．利用停止と継続申請

名誉教授以外の方は年度が変わった時点で利用延長の手続きが必要です。継続して利用を希望する場合は、上記いずれかの身分証をご持参のうえ、窓口で継続申請の手続きをしてください。
毎年度8月1日に停止処理を行います。

窓口一覧

・吉田南構内 学術情報メディアセンター南館1階
・北部構内 理学研究科図書室(中央、数学、化学)
・医学部構内 医学図書館
・薬学部構内 アジア・アフリカ地域研究研究科図書室
・桂キャンパス 工学研究科附属情報センター
・宇治キャンパス 附属図書館宇治分館
・犬山地区 霊長類研究所図書室
・熊取地区 原子炉実験所図書室
・大津地区 生態学研究センター図書室

学術情報メディアセンター南館以外では当日処理ができないので、継続申請は日数に余裕をもって行ってください。

教職員アカウント(SPS-ID)

http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/cert/sps_id/

対象者　教職員(学外非常勤講師等の一部職員を除く)、その他部局長が必要と認める者

問い合わせ先　情報推進課 電子事務局掛　e-office@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

SPS-IDの発行

部局の担当からの電子申請に基づき発行しています。アカウント通知書は採用時に部局の担当事務を通じてお渡しします。

IC学生証、認証ICカード、施設利用証

http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/cert/use/type.html

対象者　**学生　教職員　等**

問い合わせ先　情報環境支援センター　support@iimc.kyoto-u.ac.jp

IC学生証や、教職員に配布される認証ICカード・施設利用証は、かざすだけで情報の読み取りができる非接触型のICカードになっています。カードリーダにかざすだけで入退館管理や電子マネーでの支払いができます。また、認証ICカードには、より安全な認証のための電子証明書が格納されています。

ICカードで利用可能なサービス(部局により異なる場合があります)

カード種別	対象者区分	利用可能な機能
IC学生証	学部学生、大学院生	証明書自動発行 ICカードを用いたセキュアなコピーやプリントアウト 入退室(館)管理 授業出席管理 京大生協組合員証および京大生協電子マネー(生協組合員のみ)
認証ICカード	総長、理事、監事、教職員(学外非常勤講師、TA/RA/OA、短期雇用者を除く)、部局の長が必要と認める者	セキュアなシステムへのICカードによるログイン ICカードを用いたセキュアなコピーやプリントアウト 入退室(館)管理 京大生協組合員証および京大生協電子マネー(生協組合員のみ)
施設利用証	上記以外で、施設利用証を用いて入退館等を行う者	入退室(館)管理

全学情報システム

対象者　**教職員**

問い合わせ先　情報環境支援センター　support@iimc.kyoto-u.ac.jp

認証に利用しているサービスやシステム(全学認証システム)は全学情報システムに指定されており、下記のURLの中の「全学情報システム利用規則」に従ってご利用いただきます。皆さんの大切な認証情報ですので、十分に注意してご利用ください。
情報セキュリティ関連規程：　http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/ismo/use/regulations.html

認証ポータルサイト

全学生共通ポータル https://student.iimc.kyoto-u.ac.jp/	対象者　**学生** 問い合わせ先　情報環境支援センター　support@iimc.kyoto-u.ac.jp

学生を対象としたポータルサイトで、学生アカウント(ECS-ID)とパスワードでログインします。
講義情報の確認、図書館機構サービス、電子メール、インターネット上での学習システムといった学生生活に欠かせない情報システムやサービスを安全・便利に利用できます。
※ECS-ID取得者のうち学生以外の方はアクセスできません。それぞれのURLからアクセスしてください。

メニュー
・KULASIS(教務情報システム)
・MyKULINE
・学生用メール(KUMOI)
・情報セキュリティe-Learning
・学習支援システム(PandA)
・アンケートシステム
・生涯メール

教職員用ポータル(教職員グループウェア) https://www.tam2.adm.kyoto-u.ac.jp/	対象者　**教職員** 問い合わせ先　情報推進課 電子事務局掛 e-office@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

教職員(学外非常勤講師等の一部職員を除く)を対象としたポータルサイトで、教職員アカウント(SPS-ID)とパスワードでログインします。安全・安心にご利用いただくために、専用の認証システムを構築しているほか、多くの機能を有しており、教職員の利便性の向上に貢献しています。

基本的な機能
・シングル・サインオン：人事・給与申請閲覧等、財務会計システム、出張旅費システムなどに再認証せずにログインすることができます。

メニュー
・掲示板：教職員へのお知らせを掲載・閲覧できます。
・教職員用メール(KUMail)：全教職員の情報伝達を安全かつ効率的に行うインフラです。
・予定表：教職員の予定情報を共有し、会議や打ち合わせの日程調整など日々の業務の効率化を図ります。
・スケジュール調整：教職員間で会議や打ち合わせの日程調整を簡単に行うことができます。
・回覧板：特定の方々への通知方法として利用できます。メールとは異なり誰が既読／未読であるかをその閲覧グループ内で確認できます。
・施設予約：会議室や貸出物品等について、時間・場所の制約を受けずに空き状況の確認・予約等ができます。
・文書共有：教職員が使用する文書等を共有することができます。
・その他、KUINSビジター用アカウント発行システム、KUINS接続機器登録データベース(KUINS-DB)、各種e-Learning研修、京都大学規程集、役職者内線番号一覧、事務本部・共通事務部座席表、職員録、資産の供用公募等もこちらからご覧いただけます。

京都大学が提供している全学メール

本学の学生・教職員に対して安全かつ迅速な情報伝達手段の確保を図るとともに、本学の教育・研究、業務(学生を除く) およびその他の個人の責任で利用していただくために、全学メールを提供しています。同時に学生、教職員への同報メールの確立と安全かつ利便性の高いメール環境を実現することを目的としています。

学生用メール ―KUMOI (くもい)―	対象者	**学生アカウント(ECS-ID)所有者**
http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/mail/kumoi/	問い合わせ先	情報基盤課 教育用システム管理掛 edu-qa@media.kyoto-u.ac.jp

学生アカウント(ECS-ID) を取得している正規および非正規学生等を対象に提供しています。メールアドレスの形式は「(姓) . (名) . (3文字の英数字) @st.kyoto-u.ac.jp」です。
学内外を問わずインターネットに接続されたWeb ブラウザから利用できるWebメールとしての利用の他、OutlookやThunderbirdなどのメールソフトからPOP over SSL、IMAP over SSLによる受信ができます。
本サービスは、マイクロソフト社のクラウドサービス(Office365) を利用して運用しています。

教職員用メール ―KUMail (くまいる)―	対象者	**教職員アカウント(SPS-ID)所有者**
http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/mail/kumail/	問い合わせ先	情報環境支援センター (KUMail担当) kumail-qa@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

教職員アカウント(SPS-ID) を取得している全ての教職員を対象に提供しています。メールアドレスの形式は、「(姓) . (名) . (2文字の英数字) @kyoto-u.ac.jp」です。
主な利用法は、1) Webメールとして利用、2) 現在お使いのメールソフトでの利用、3) 現在お使いのメールアカウントへの転送です。京都大学教職員グループウェアからも利用できます。
本サービスは、学内の汎用コンピュータシステム上で運用されています。

文書共有ツールKUMailストレージサービス　http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/mail/kumail_fsv/

SPS-ID取得者を対象としてKUMailストレージサービスを提供しています。
学内のサーバにインターネット経由でファイルを保存し、相手にそのURL (保存場所) を通知することで、学内外の研究者と大容量のファイルでも送信・共有することができる、オンラインストレージサービスです。利用者(教職員) ごとに2GBのユーザフォルダが利用できます。
ダウンロード時のメール認証やパスワード設定を行うことで、安全にファイルを受け渡しすることができます。また、メールにファイルを添付しないため、送付先の容量制限を気にする必要もなく、メールサーバやネットワークへの負荷を軽減することも期待できます。

KUMailストレージサービス　直接URL　https://fsv.iimc.kyoto-u.ac.jp/

生涯メール	対象者	**学生(非正規学生を除く)**
http://www.lm.iimc.kyoto-u.ac.jp/kulm/	問い合わせ先	生涯メール担当 lmsupport@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

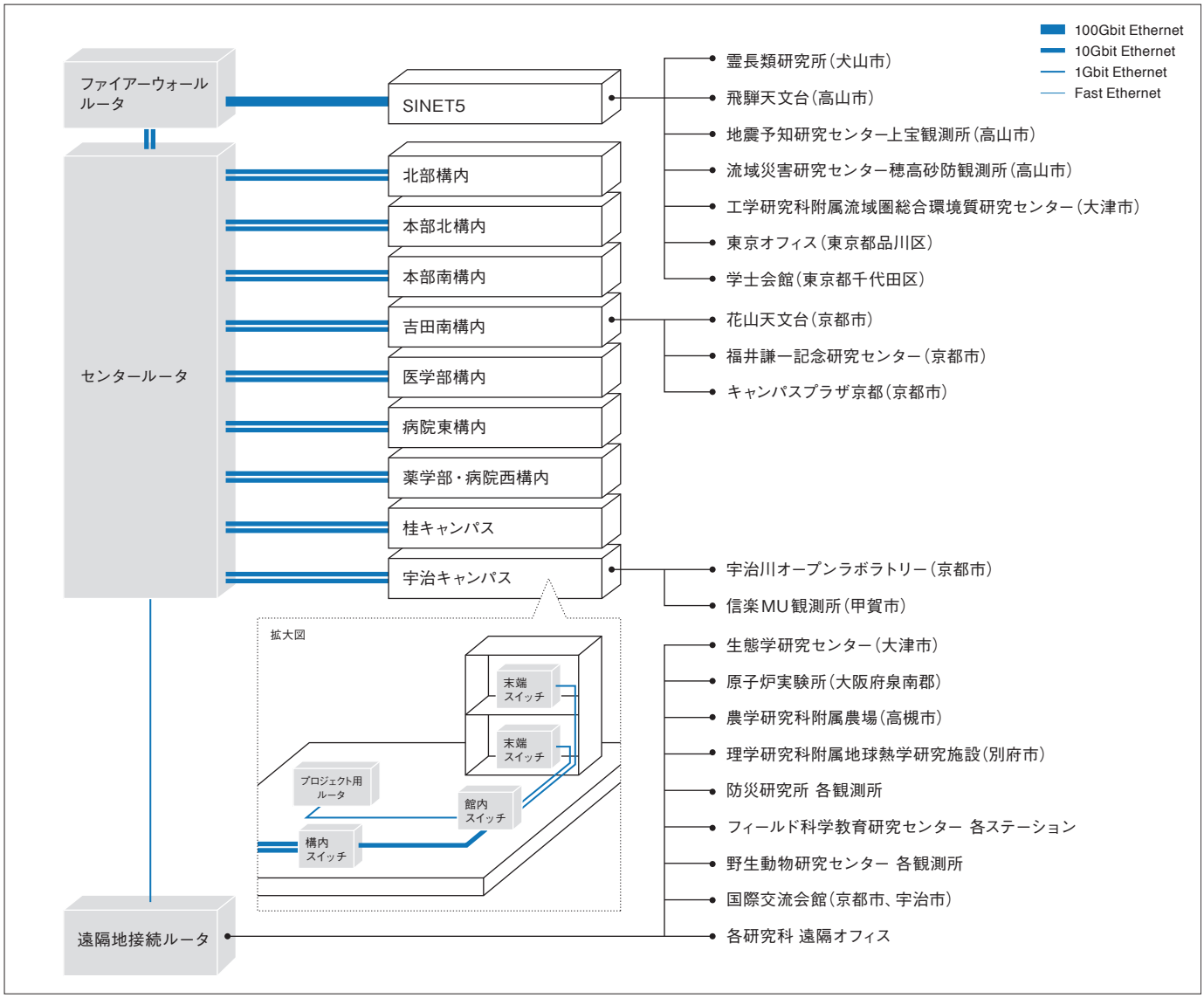
京都大学生涯メールサービスは、京都大学の卒業生・修了生及び在学生を対象とした無料のメール転送サービスです。
京都大学と対象者の皆様との連携、卒業生・修了生等同窓生の相互の交流促進、同窓会を介した社会連携体制の強化等を目的として、2016(平成28)年2月にサービスを開始しました。
シンプルなドメイン名(@kyoto-u.jp (acは付きません)) の生涯メールアドレスを提供します。このメールアドレスは転送専用ですが、大学を離れてからも生涯にわたってご利用いただけます。当面は学部・研究科の正規の学生・院生を対象としていますが、2017(平成29)年以降に教職員の方にも提供する予定です。
また、学部・研究科の卒業生等の生涯メールアドレスは、所定の手続きを取っていただくことにより、部局(同窓会) にも提供する予定です。

ネットワークの利用（京都大学学術情報ネットワークシステム（KUINS:くいんず））

京都大学学術情報ネットワークシステム（KUINS：Kyoto University Integrated information Network System）は、京都大学の全学的なコンピュータネットワークであり、吉田キャンパス、宇治キャンパス、桂キャンパスをはじめ犬山（愛知県犬山市）や熊取（大阪府泉南郡）などの遠隔地まで、全学の主要な施設をカバーしています。学外のインターネットとはSINET5（国立情報学研究所が運用管理している国内の学術研究用ネットワーク）等を介して接続されています。

ネットワークの基幹部分には、ファイアーウォール、不正アクセス監視装置、ウイルスチェックサーバ、SPAMメールチェックサーバ等を導入し、常時セキュリティ対策を行っています。

情報環境機構では、通信に利用する各種サーバ、センタールータ、構内スイッチから、各施設のフロアごとに設置している末端スイッチや共用無線LANアクセスポイントまで、KUINSのネットワークインフラを維持・管理しています。また、提供サービスとして、学内でネットワークを利用するための利用申請の受付および設定、VPN接続サービスの運用、遠隔地におけるKUINSの利用支援を行っています。



京都大学学術情報ネットワークシステム　システム図

システム利用案内　「管理責任者」、「支払責任者」は本学教職員である必要があります。

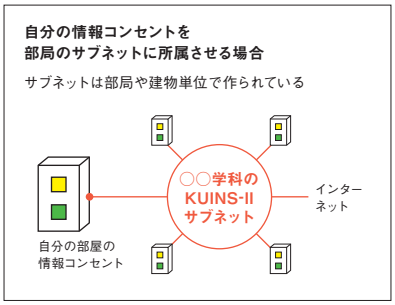
利用資格	教職員
利用負担金	必要　KUINS-II：IPアドレス1つにつき　月額 1,500円 KUINS-III：情報コンセント1個につき　月額　300円
使用できる予算科目	研究経費（教育研究事業費）、教育経費（教育研究事業費）、受託研究費、一般管理費（教育研究事業費）教育研究支援経費（教育研究事業費）、教育研究支援経費（厚生補導費）
申請	「KUINS接続機器登録データベース（KUINS-DB）」から電子申請 ※教職員グループウェア＜業務・規程類＜ネットワーク申請等＜KUINS接続機器登録データベース

KUINS-Ⅱ接続
―サーバをインターネットにつなぐ―

http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/kuins/kuins/

対象者	教職員
問い合わせ先	情報基盤課 ネットワーク管理掛 q-a@kuins.kyoto-u.ac.jp

KUINS-Ⅱは、グローバルIPアドレスを使用するネットワークです。主に、学外と直接通信を行うメールサーバやWebサーバ等をKUINSのネットワークに接続します。KUINS-Ⅱに接続する機器は、サーバやPCごとの管理責任者や、サーバ等の固有情報を登録して端末からネットワークに接続できるようにし、高いセキュリティレベルを確立しています。
原則として建物単位又は部局単位でKUINS-Ⅱのサブネットを割り当てており、各サブネットの「サブネット連絡担当者」がグローバルIPアドレスを管理しています。
機器を接続するには、利用したい情報コンセントをサブネットに所属させ、IPアドレスや接続機器の情報を「KUINS接続機器登録データベース(KUINS-DB)」に登録する必要があります。
なお、グローバルIPアドレス1つごとに所定の利用負担金が課金されます。



KUINS-Ⅱ利用例

KUINS-Ⅱ 利用の申請手続き

申請者 *1 → 建物のサブネットを調べる *2 → サブネット接続申請をする *3 → IPアドレスを取得する → 管理責任者、支払責任者を決める *4 → KUINS-DBよりホスト登録を申請をする → 情報コンセントに端末を接続する(手続き完了) *5

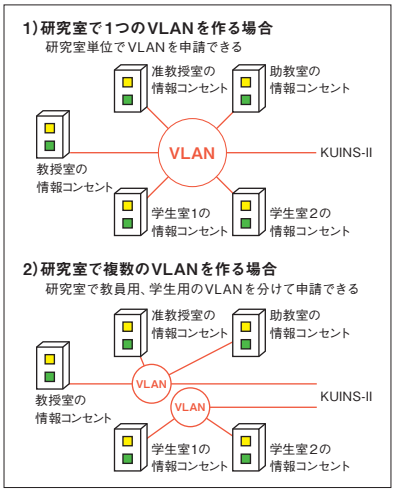
*1 使用する情報コンセント番号をご確認ください。情報コンセントは主に居室の壁面に設置されています。
*2 建物のサブネットおよびIPアドレスを管理しているサブネット連絡担当者がわからない場合は、お問い合わせください。
*3 **サブネット接続申請書**
*4 管理責任者、支払責任者になる方は、本学教職員である必要があります。
*5 設定完了通知がメールで届きます。設定完了後に接続ができない場合は、情報環境機構ホームページ「学術情報ネットワーク(KUINS)」を参照ください。
http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/kuins/

KUINS-Ⅲ接続
―パソコンをインターネットにつなぐ―

http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/kuins/kuins/

対象者	教職員
問い合わせ先	情報基盤課 ネットワーク管理掛 q-a@kuins.kyoto-u.ac.jp

KUINS-Ⅲは、プライベートIPアドレスを使用するネットワークです。主に、学外と直接通信する必要のない個人のPC等を接続します。KUINS-Ⅲと学外との通信は、プロキシサーバやNATサーバを経由して行います。
各施設の部屋に設置された情報コンセントでVLAN(Virtual LAN)と呼ぶ論理的なサブネットを形成することができます。研究室単位でVLANを構築することはもちろん教員用、学生用などとVLANを細分化して構築することも可能であり、管理者の運用ポリシーを反映させることができます。IPアドレスは、DHCPによって割り当てられるアドレス、固定アドレスの両方が利用できます。
KUINS-Ⅱ ではあらかじめ建物単位又は部局単位でサブネットを割り当てていますが、KUINS-Ⅲでは、研究室や個人でVLANの利用申請を行う必要があります。利用申請はKUINS-Ⅱと同様に「KUINS接続機器登録データベース(KUINS-DB)」から行います。
HUBを利用し1つの情報コンセントに複数の端末を接続することも可能です。
なお、登録した情報コンセント1ポートごとに所定の利用負担金が課金されます。



KUINS-Ⅲ利用例

KUINS-Ⅲ 利用の申請手続き

KUINS-Ⅲ利用申請者 *1 → 既存VLANに接続 / 新規VLANを作成 → 所属させるVLAN番号(VID)を調べる → VLAN管理責任者、支払責任者、連絡担当者を決める *2 → VLANの設定を決める *3 → KUINS-DBよりVLAN管理責任者が、VLANの設定申請をする → 情報コンセントに端末を接続する(手続き完了) *4

*1 使用する情報コンセント番号をご確認ください。情報コンセントは主に居室の壁面に設置されています。
*2 管理責任者、支払責任者になる方は、本学教職員である必要があります。
*3 研究室や事務室のKUINS-ⅢのVLANにはCLOSE設定を選択してください。 自習スペースなど開かれた利用環境では後述の認証付き情報コンセントサービスをご利用ください。
*4 設定完了通知がメールで届きます。設定完了後に接続ができない場合は、情報環境機構ホームページ「学術情報ネットワーク(KUINS)」を参照ください。
http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/kuins/

VPNサービス
―学外から学内限定のネットワークにつなぐ―

http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/kuins/vpn

対象者	**学生　教職員**
問い合わせ先	情報基盤課 ネットワーク管理掛 q-a@kuins.kyoto-u.ac.jp

学外から学内限定のネットワークにつなぐVPN（Virtual Private Network）サービスとして次の3つの方法があります。

・PPTP接続
・SSTP接続／ OpenVPN接続
・SSHポートフォワード接続

本サービスを利用することにより、自宅や職場など学外のネットワークからの接続を、学内の標準的なKUINS-III CLOSEスペース設定VLANに接続している状態に準じた接続環境にすることができます。これにより、学内に限定して提供されているオンラインサービス（電子ジャーナルの閲覧、グループウェアの利用等）に安全にアクセスすることが可能となります。

・PPTP接続

PPTP接続サービスは、学外のネットワークや、学内の共用無線LAN、OPENスペース設定VLAN等からの安全な接続のための、PPTP（Point to Point Tunneling Protocol）による接続サービスです。

本サービスには、申請が不要でPCの設定のみで利用可能なサービス（単に「PPTP接続サービス」と呼びます）と、KUINS-III VLANの管理責任者からの申請が必要な「PPTP-VLAN固定接続サービス」の、2つのサービスがあります。後者は、学外のネットワークおよび異なるキャンパスから、普段利用しているVLANへのアクセスを可能にするサービスです。このサービスを利用するにはTCPプロトコル（1723番ポート）、GREプロトコルが通信できることが必須です。

利用方法・接続設定方法：　http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/kuins/vpn/use/pptp.html

※iPhone, iPad, MacOSX利用者の方向けに「京大ラクラク設定ツール」を提供しています。簡単に設定できますので、お試しください。

◆教職員向け（SPS-ID用）
https://www.rd.iimc.kyoto-u.ac.jp/apps/kyodairaku2/index-sps.html

◆学生向け（ECS-ID用）
https://www.rd.iimc.kyoto-u.ac.jp/apps/kyodairaku2/index-ecs.html

・SSTP接続／ OpenVPN接続

SSTP（Secure Socket Tunneling Protocol）接続サービスおよびOpenVPN接続サービスは、VPNによる学外のネットワークからの安全な接続のための、SSLを利用した接続サービスです。

SSLとは、インターネット上で情報を暗号化して送受信するプロトコルです。広く利用されているWWWやFTPといったデータを暗号化し、部外秘の情報やプライバシーに関わる情報等を安全に送受信することができます。これらの接続はTCPプロトコル（443番ポートなど）を利用するため、前述のPPTP接続が利用できない環境でも接続できる場合があります。

利用方法・接続設定方法：SSTPサービス：http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/kuins/vpn/use/sstp.html
OpenVPN接続：http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/kuins/vpn/use/openvpn.html

・SSHポートフォワード接続

SSH（Secure SHell）は、ネットワークを介して別のホストと暗号化通信するためのプロトコルです。ポートフォワードは、このSSHで暗号化したデータを任意のホストおよびポートに対して転送する機能です。ポート転送の機能を使うことにより、学外ネットワークの端末から直接学内のサーバに接続することができます。

本サービスを利用すると、ネットワークを流れるデータは暗号化されますので、インターネット経由で学内へ安全な接続を行うことができます。

利用方法・接続設定方法：　http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/kuins/vpn/use/sshportforward.html

無線LAN接続サービス
―学内者向けのKUINS-Airと学外者向けのeduroam―

対象者	**学生　教職員　等**
問い合わせ先	情報基盤課 ネットワーク管理掛 q-a@kuins.kyoto-u.ac.jp

京都大学内で使用できる無線LANへの接続方法は学内者向けの「KUINS-Air」と学外者向けの「eduroam」の２種類があります。

「KUINS-Air」はSPS-ID又はECS-IDで認証すれば、KUINS-IIIへ接続し学内及び学外のネットワークを利用することができます。

「eduroam」はKUINSではなく学外ネットワークへ接続するため学外インターネットは利用できますがグループウェアや電子ジャーナルなど学内制限のサービスへは接続できません。後述のビジター用アカウントで一時来訪者のかたが利用可能です。
またeduroam（http://www.eduroam.jp/）という、複数の大学等教育研究機関の間での無線LANローミング（相互利用）環境を提供するサービスとの連携によりeduroam加盟機関が提供するアカウントでも利用可能です。
京都大学の構成員であれば下記よりeduroamアカウントを取得すれば本学を含む他のeduroam加盟機関の無線LANが利用できます。
https://eduroamshib.nii.ac.jp/

無線LAN機器設置場所
http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/kuins/wifi/use/wifi_ap.html

ビジター用アカウントサービス
―一時来訪者にネットワーク環境を提供する―

対象者	**教職員**
問い合わせ先	情報基盤課 ネットワーク管理掛 q-a@kuins.kyoto-u.ac.jp

情報環境機構では、学外所属の一時来訪者へのインターネット接続サービスとして、ビジター用アカウントを発行しています。
ビジター用アカウントは、edurouam方式での無線LAN接続の認証時及び認証付き情報コンセントサービスのWeb認証時に使用します。

ビジター用アカウント申請・発行方法
教職員グループウェア（https://www.tam2.adm.kyoto-u.ac.jp/portal/）にSPS-IDでログインする
⇒上部メニューの「業務リンク類」を選択する
⇒「ネットワーク申請等」欄の「KUINSビジター用アカウント発行システム」を選択する
⇒「アカウント設定」で、
利用開始日（利用開始日は61日先まで指定可能）
利用可能日数（31日以内）
発行アカウント数（1日62アカウントまで可）
を設定し、「送信」をクリック
⇒印刷画面が出てくるので、その画面を保存し、印刷
⇒印刷した紙を、利用希望者の情報を控えてから希望者に配付
（アカウント利用期間終了から3ヶ月間は保管してください。）
利用方法・接続方法：　http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/kuins/kuins/use/visitor.html

認証付き情報コンセントサービス
― 共用スペースでネットワークを利用する ―

対象者	**教職員**
問い合わせ先	情報基盤課 ネットワーク管理掛 q-a@kuins.kyoto-u.ac.jp

「認証付き情報コンセントサービス」とは、学内施設のホールや会議室等の共用スペースにて、KUINSの情報コンセントからインターネットに接続するためのサービスです。
Webブラウザにて任意のサイトに接続した際に表示される画面で認証すると、学外インターネット接続が可能になります。ただしグループウェアや電子ジャーナルなど学内制限のサービスへは接続できませんので、必要であればVPNサービスを併用してください。
吉田、宇治、桂地区の部局、専攻、学科等で共通に利用される講義室、会議室、セミナー室、自習スペースや全国共同利用や学内共同利用のための実験室等を対象にしており、事務室や研究室、学生の居室、研究プロジェクト等で専有利用するセミナー室、会議室、自習室、実験室等は対象外です。

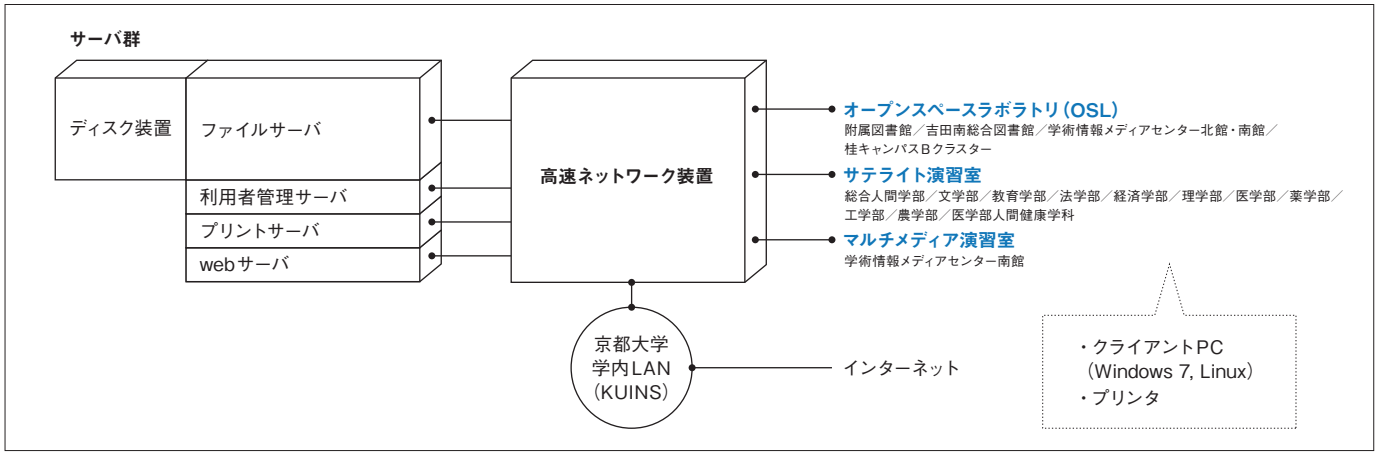
申請方法
利用を希望する場合は、「部局情報セキュリティ技術責任者」の方が、情報環境機構の問い合わせフォームに以下の事項を記入して、申請してください。

1. 申請者の氏名
2. 部局情報セキュリティ技術責任者名
3. VLAN管理番号(すでにVLAN登録済みの場合)
4. 情報コンセント名、建物名、室番、室名、部屋用途
5. 情報コンセントについての問い合わせ者の氏名、所属、連絡先

利用方法
利用にはSPS-ID，ECS-ID，eduroamアカウント，ビジター用アカウントのいずれかが必要になりますので事前にご準備ください．

教育用コンピュータシステム

教育用コンピュータシステムは、本学の情報教育のために提供されているシステムです。情報教育を支援するため、学術情報メディアセンター南館に情報教育や語学学習（CALL）用演習室を設置し、各学部にもサテライト演習室を展開しています。学生の自主学習用として、学術情報メディアセンター北館２階201、南館１階東側・西側、附属図書館３階、吉田南総合図書館２階、桂キャンパスBクラスター船井交流センター３階の５箇所をオープンスペースラボラトリ（OSL）として提供しています。これらのサテライト演習室やOSLには、パーソナルコンピュータ端末（PC端末）があり学生は学生アカウント（ECS-ID）で、教職員は教職員アカウント（SPS-ID）で利用できます。これらのPC端末は、オペレーティングシステム（OS）としては、WindowsおよびLinuxが利用できることや、ファイルサーバと接続されていることにより、どこのPC端末からでも同一の利用者のファイルを読み書きできます。同室内にプリンタ（一部のサテライト演習室・OSLを除く）が設置されており、授業の課題やレポート提出のために利用できます。



教育用コンピュータシステム　システム構成図

PC端末の利用
―OSLや部局サテライト演習室のパソコンを利用する―

http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/ecs/terminal
http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/call/autonomous

対象者	学生　教職員　等
問い合わせ先	情報基盤課 学習用メディア管理掛 edu-qa@media.kyoto-u.ac.jp

各学部サテライト演習室は、当該部局の情報教育に関わる専門科目が中心に授業が実施されています。学部によっては、サテライト演習室で授業がない時間帯を所属の学生に開放しているところもありますので当該学部の教務掛にお尋ねください。
OSLは、授業と関係なく開館中はいつでも自由にPC端末が利用できます。マイドキュメント（Mドライブ）の格納制限は300MBまでです。超えている場合はアプリ等が正常に動かなくなる場合がありますので、USBメモリを持参するなどして制限容量以内で利用してください。また、これらのPC端末には、さまざまな外国語学習用の教材がインストールされていますので、自律学習用CALL端末として開館中はいつでも自由に学習することができます。ただし、利用の際は、各自でイヤフォン等をご用意ください。

＊CALL＝Computer-Assisted Language Learning（コンピュータ支援型言語学習）
＊サテライト演習室・OSL配置図（次ページ参照）

OSL利用状況

＊右記のQRコードを読み取ると、OSLの空き状況を確認できますので、来場の目安にしてください。
ただし、閉館されている場合や、来場された場合に実際の状況とは異なることもあります。

❶-❹OSL設置場所

吉田キャンパス
❶附属図書館 3階
❷吉田南総合図書館 2階
❸学術情報メディアセンター南館 1階
❹学術情報メディアセンター北館 2階

桂キャンパス
・船井交流センター3階Eスタディルーム

❺-⓱サテライト演習室設置場所

各部局に設置のサテライト演習室のご利用は原則として当該部局に所属の方に限ります。
詳細は各部局へお問い合わせください。

❺	総合人間学部／人間・環境学研究科	総合人間学部棟 2階1206
❻	文学部／文学研究科	文学部校舎 3階L312
❼	教育学部／教育研究科	教育学部本館 2階226教室、4階420教室
❽	法学部／法学研究科	法経済学部北館 2階202
❾	経済学部／経済学研究科	法経済学部東館 地階情報演習室1、2
❿	医学部／医学研究科	医学部総合解剖センター 2階実習室
⓫	〃	医学部人間健康科学科西棟 1階端末室
⓬	薬学部／薬学研究科	薬学部教育棟 1階情報処理演習室
⓭	工学部／工学研究科	工学部物理系校舎 1階124情報処理演習室1 2階230情報処理演習室2
⓮	〃	工学部3号館北棟 1階情報処理演習室1、2
⓯	農学部／農学研究科	農学部総合館 2階W222、W228
⓰	理学部／理学研究科	理学部6号館南棟 2階208、210
⓱	学術情報メディアセンター	学術情報メディアセンター南館 2階演習室203、204、3階演習室303

（2016年4月現在）
※最新情報は情報環境機構WEBサイトにてご確認ください。

プリンタサービス
―課題、レポート等を印刷する―

http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/ecs/printer

対象者	**学生　教職員**
問い合わせ先	情報基盤課 学習用メディア管理掛 edu-qa@media.kyoto-u.ac.jp

OSL、および各学部サテライト演習室(一部のサテライト演習室を除く)に設置しているプリンタを利用して、年度の制限枚数200枚(両面印刷で400ページ、期間は4月～翌年3月で翌年4月に200枚が再設定される)までの印刷出力ができます。なお、規定枚数に達して印刷ができなくなった場合はPDF化してUSBメモリに保存し、京大生協(吉田・南エリアの吉田ショップ、時計台生協ショップ)等のコピー機で印刷(有料)してください。

授業用ソフトウェアのインストール

http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/ecs/class/

対象者	**教職員　等**
問い合わせ先	情報基盤課 学習用メディア管理掛 edu-qa@media.kyoto-u.ac.jp

授業担当教員からの申請に応じて、授業に必要なソフトウェアを学期ごとにインストールし提供しています。またライセンスサーバの運用も行っています。インストールするソフトウェアについては、年2回(前期分：12月、後期分：6月)申請を受け付けています。

共有フォルダの提供

http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/ecs/other_service/

対象者	**教職員　等**
問い合わせ先	情報基盤課 学習用メディア管理掛 edu-qa@media.kyoto-u.ac.jp

授業での資料配布などのためにLinuxからアクセスできる共有フォルダを提供しています。

教育コン・一時利用アカウントの発行
―公開講座､セミナーなどで教育用コンピュータを利用する―

http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/ecs/use/tempaccount.html

対象者	**教職員**
問い合わせ先	情報基盤課 学習用メディア管理掛 edu-qa@media.kyoto-u.ac.jp

公開講座、セミナーなどで京都大学構成員以外の一般の方にも一時的に教育用コンピュータシステムをご利用いただける「教育コン・一時利用アカウント」を発行しています。
一時利用アカウントの申請は京都大学教員からの申請に限っており、利用は申請者の管理下で行っていただきます。なお、一時利用アカウントではプリンタサービスはご利用になれません。
ご希望の方は利用予定日時、利用者数など事前にご相談のうえ、「教育コン・一時利用アカウント交付申請書」を情報環境支援センターまで提出してください。なお、学内便の往復には4日間程度日数がかかりますので、申請書は利用予定日の1週間前には届くようにしてください。
また、各学部のサテライト演習室の利用は各学部の教務掛に、学術情報メディアセンター南館演習室の利用は情報環境支援センター(南館窓口)にお問い合わせください。

遠隔デスクトップサービス

http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/ecs/rd/

対象者	**学生　教職員　等**
問い合わせ先	情報基盤課 学習用メディア管理掛 edu-qa@media.kyoto-u.ac.jp

遠隔デスクトップサービスは、自宅や研究室といった遠隔地から教育用コンピュータシステムの端末サービスの一部を利用することができるサービスです。自宅での自学自習や遠隔地での授業の準備などにご利用いただけます。
ただし、学内限定サービスですので、学外のネットワークから利用する場合はVPNの設定が必要です。
サービスの利用には利用期間が設けられており、期間を超過すると自動的に利用できなくなります。利用期間は申請日から30日です。
利用期間の超過後も利用したい場合は、再度利用申請をしてください。

遠隔講義、遠隔会議を行う

http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/distlearn/lecture

対象者	**教職員**
問い合わせ先	情報基盤課 学習用メディア管理掛(遠隔講義支援担当) dl-qa@media.kyoto-u.ac.jp

本学のキャンパス間で行われる遠隔講義から、国内の他大学・研究機関との遠隔講義、海外の大学との遠隔講義に至るまで、幅広いニーズに応じた遠隔講義の実施を支援しています。学内に20箇所程度配備された高精細遠隔講義システムは、H.323と呼ばれる国際標準規格に準拠していますので、国内外の様々な遠隔会議・講義システムと接続可能です。その他、様々なネットワーク環境に応じた機器と長年蓄積したノウハウを活用して遠隔講義をサポートしています。
また、海外・国内・学内との間の遠隔会議の実施に関する相談も受け付けています。
遠隔講義の実施には、機材・人員の確保などの事前準備を行っておく必要があります。具体的な期日や内容が未定でも、できるだけ早くご相談ください。

学習支援システム(PandA)

http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/lms/

対象者	**学生　教職員　等**
問い合わせ先	情報基盤課 教育用システム管理掛 edu-qa@media.kyoto-u.ac.jp

平成25年度前期より学習支援システム(PandA)の運用を開始しています。学習支援システムは授業と連動するコンテンツをWebブラウザから教員と学生が利用するサービスで、授業の運営における教員と学生の活動を支援するために導入しました。授業資料の配布、学生からの課題提出、小テストなどを行うことができます。一部の機能はKULASIS(京都大学教務情報システム)と重複します。これについてはどちらを利用するか、個々の授業の中で方針をお決めください。
またOCWと異なり教員、学生の認証を経て利用していただくシステムで、授業活動そのものの支援を目的としています。
コースサイト開設方法、利用方法は下記URLをご参照ください。
http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/lms/
学習支援システム(PandA)の入口：　https://panda.esc.kyoto-u.ac.jp

スーパーコンピュータシステム

スーパーコンピュータを利用する	対象者　学生　教職員　等
http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/comp/	問い合わせ先　情報環境支援センター（スパコン担当） zenkoku-kyo@media.kyoto-u.ac.jp

スーパーコンピュータシステムは、京都大学内のみならず、全国の大学等の研究者を対象にして、学術研究にともなう科学技術計算や情報処理を行うために設置されたシステムです。
このシステムは、サービスに応じた利用負担金を支払うことで、研究者だけでなく大学院生や卒業研究を行う学部学生の方々にもご利用いただけます。
スーパーコンピュータのサービスは、大規模な科学技術計算および計算化学、構造解析、統計処理、可視化などの様々なアプリケーションソフトウェアを提供し、学術研究を支援します。
また、プログラミングやチューニングに関するコンサルティングや、プログラミング技術および各種アプリケーションソフトウェアの利用方法などを習得するための講習会を開催して、利用者をサポートしています。

・アプリケーションソフトウェアを利用する

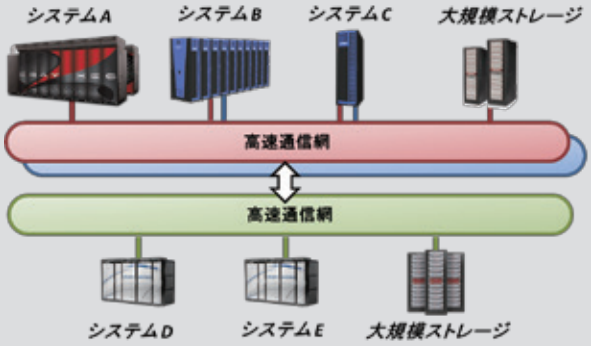
計算化学、構造解析、統計処理、可視化などの様々なアプリケーションソフトウェアのサービスを提供しています。また、研究室では導入・維持が難しい高価なアプリケーションが、安価でしかも常に最新バージョンで使えます。

可視化	AVS/Express、Tecplot、IDL、Exceed onDemand
リモートセンシング	ENVI
数式処理	Maple、Mathematica
技術計算	MATLAB
構造解析	Adams、Nastran、Patran*、Marc、Marc Mentat*、LS-DYNA、ANSYS
計算化学	Gaussian、GaussView*、MOPAC
統計解析	SAS
デバッグ	TotalView

*プリポストソフトウェア：アプリケーションソフトに対し、計算モデルの作成や結果の表示といった本計算の前後で補助的な処理を行うソフトウェア

スーパーコンピュータシステムについて

平成24年5月にサービスを開始したスーパーコンピュータシステムは、A、B、Cの3種類のシステムと総ディスク容量5PBの大規模ストレージから構成されています。平成26年にはシステムD、Eの2種類のシステムと3PBのストレージを増強しています。システムAは、ノード数940台、ピーク演算性能300.8TFlops、総メモリ容量59TBの性能・規模を有し、大規模演算が可能なシステムです。システムBは、研究室等のPCクラスタと互換性が高いシステムであり、ノード数601台、ピーク演算性能242.5TFlops、総メモリ容量38TBの性能・規模を有しています。システムCはノードあたりの巨大なメモリ容量が特長であり、ノード数16台、ピーク演算性能10.6TFlops、総メモリ容量24TBの性能・規模を有しています。システムDは最新のIntel Xeonプロセッサを2基搭載し、ノード数416台、ピーク演算性能428.6TFlops、総メモリ容量26TBの性能・規模を有しています。システムEはIntel Xeon Phiと呼ばれるコプロセッサを搭載したシステムであり、ノード数482台、ピーク演算性能583.6TFlops、総メモリ容量18.8TBの性能・規模を有しています。



スーパーコンピュータシステム構成図

・大判プリンタを利用する

スーパーコンピュータ利用者の方向けに、学会のポスターセッションなどの資料作成用として、36インチ（914mm）幅の用紙にカラー印刷することができる大判プリンタのサービスを提供しています。

システム利用案内

利用には大型計算機システム利用者番号が必要です

利用資格	次のいずれかに該当する方 1. 大学、短期大学、高等専門学校又は大学共同利用機関の教員およびこれに準ずる者 2. 大学院の学生およびこれに準ずる者 3. 学術研究を目的とする国又は自治体が所轄する機関に所属し、専ら研究に従事する者 4. 科学研究費補助金等の交付を受けて学術研究を行う者 5. その他センター長が必要と認めた者
利用負担金	要（私費では利用できません）
申請窓口	情報環境機構 情報環境支援センター（スパコン担当） 〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町 京都大学学術情報メディアセンター南館 1階 TEL　075-753-7424　　E-mail　zenkoku-kyo@media.kyoto-u.ac.jp

アカウント（大型計算機システム利用者番号）取得の流れ

申請者 → 「大型計算機システム利用申請書」を取得*1 → 情報環境支援センター（スパコン担当）に「大型計算機システム利用申請書」を提出 → 利用者番号取得*2 パスワード

*1
大型計算機システム利用申請書：以下のWebページよりダウンロード
http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/comp/apply/

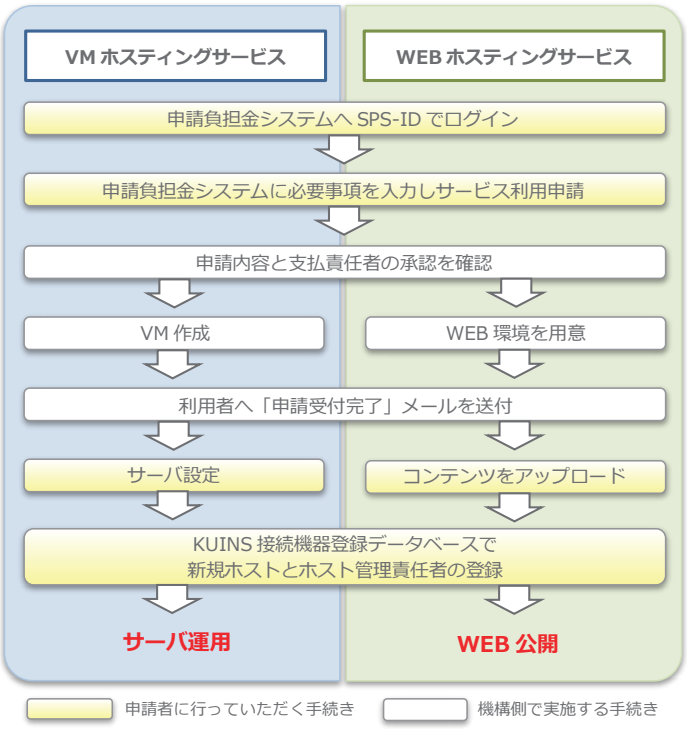
*2
大型計算機システム利用者番号：“先頭のアルファベット1文字”に5桁の数字を加えた6文字の番号

ホスティングサービス

京都大学情報環境機構の汎用コンピュータシステム内に占有または共有のバーチャルマシーン（VM）を設置し、学術研究・教育等に関する情報発信・広報に利用するための環境を提供しています。
本サービスを利用することで、自前でサーバを用意することなく、サーバの運用やホームページの公開・マルチメディアコンテンツの配信などを行うことが可能になります。また、それに伴うサーバの維持管理やセキュリティ対策などに必要な労力を軽減できます。

利用手続きの流れ

本サービスの利用申請は、申請負担金システムによるWebオンライン申請となっています。
申請負担金システム：http://sabs.iimc.kyoto-u.ac.jp/



ホスティングサービス利用者ポータルサイト

https://hsp.d02.iimc.kyoto-u.ac.jp/

VMホスティング及びWebホスティングサービスの利用者の方を対象としたポータルサイトで、次のような機能を提供しています。

1. サービスに関する連絡事項の閲覧
   利用者メニューの[TOPページ]に、機構からの連絡事項とご利用の仮想ホスト毎の連絡メモが表示されます。連絡メモは、仮想ホストについて利用者と共同利用者が自由にメモを書き込むことができます。担当者間の連絡やホスト管理の引継などにご利用いただける機能です。
2. サービス利用状況の確認
   利用者メニューの[仮想ホスト管理]をクリックすると、利用者又は共同利用者になっている仮想ホストのリストが表示されます。リスト内で[詳細表示]ボタンを押すと利用状況の確認ができます。
3. forward+ファイルによるメール転送設定の編集
   仮想ホスト一覧の[メール転送]ボタン、または、[仮想ホスト詳細表示]画面の[メール転送設定]ボタンを押すとメール転送機能の転送メールアドレス設定に用いる.forward+ファイルを、ポータルからより迅速に設定いただくことができます（設定は即時反映されます）。
4. Mailmanメーリングリストの新規作成申請
   [仮想ホスト詳細表示]画面の[メーリングリスト申請]ボタンを押すと、WebホスティングサービスのMailmanメーリングリストの新規作成申請を行うことができます（申請内容は即時反映ではありません）。
5. FTPサーバへ接続可能なID（共同利用者）の追加と削除
   仮想ホスト一覧の[利用者]ボタン又は[仮想ホスト詳細表示]画面の[共同利用者]ボタンを押すと、FTPサーバへ接続可能な共同利用者のIDを設定することができます。ID追加は[追加]ボタンから行います。IDを入力したあと[ID存在確認]ボタンを押すと追加可能なIDかどうかを識別できます。
   [登録]ボタンを押すと、10分以内に登録内容が反映されFTPサーバへ接続可能となります。また、登録されたIDは共同利用者として本ポータルを利用できるようになります。
6. 業者IDの申請
   利用者メニューの[業者ID申請]は「業者ID申請フォーム」へのリンクとなっています。

※SPS-ID又はECS-IDでログインできます。
※機能1～3は利用者だけでなく共同利用者の方もご利用いただけます。
※機能4～6は利用者の方のみご利用いただけます。

VMホスティングサービス
―管理者権限付きの専用サーバを利用する―

http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/whs/vm/

対象者	**教職員**
問い合わせ先	情報基盤課 クラウドコンピューティング掛 whs-qa@media.kyoto-u.ac.jp

占有VMによる独自ドメインの計算機環境(サーバ)を提供します。管理者ユーザ(root)への昇格が可能なので、自由にサーバを構築・運用し、Webやメールのサービスを提供するネットワークサーバとして活用することができます。また、必要に応じて、搭載するディスク容量やCPUコア数・メモリを増量することも可能です(別途負担金が必要)。サーバOSは標準でRHEL6を搭載していますが、Windowsなど他のOSも選択できます(RHEL以外の有償OSをインストールする場合は別途ライセンスの購入が必要)。

・VMホスティングサービス(NASパッケージ)

組織内でデータを共有するためのNAS専用サーバとして利用できる計算機環境を提供します。市販のNASストレージを扱うのと同様の感覚で、Webブラウザから各種設定を行える、FreeNASというサーバOSで動作しますので、複雑なLinuxの知識がない人にも簡単にファイル共有サーバを管理・運用していただけます。

Webホスティングサービス
―サーバを管理することなくホームページを公開する―

http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/whs/web/

対象者	**教職員**
問い合わせ先	情報基盤課 クラウドコンピューティング掛 whs-qa@media.kyoto-u.ac.jp

仮想ホスト機能を用いた独自ドメイン名でのWebサイトの公開およびメール転送を行う環境を提供します。情報環境機構で管理する共用のWebサーバを使用するので、自身でサーバを構築・管理する必要がなく、コンテンツを用意するのみでWebサイトを持つことができます。

・Webホスティングサービス(CGI/PHPパッケージ)

HTMLコンテンツだけでなく、Perl/Ruby/PythonのCGIやPHPで動作するCMSやWebアプリケーションを活用してWeb公開ができます。これらを動かすためのデータベースとしてMySQLとPostgreSQLも利用可能です。

・Webホスティングサービス(WordPressパッケージ)

データベースなどの初期パラメータの設定を済ませたWordPressをコンテンツ公開スペースに予め設置した状態でお渡しします。ブラウザ上から行う簡単なインストール作業だけでCMSを導入し、公開するWebサイトを構築いただけます。

ハウジングサービス

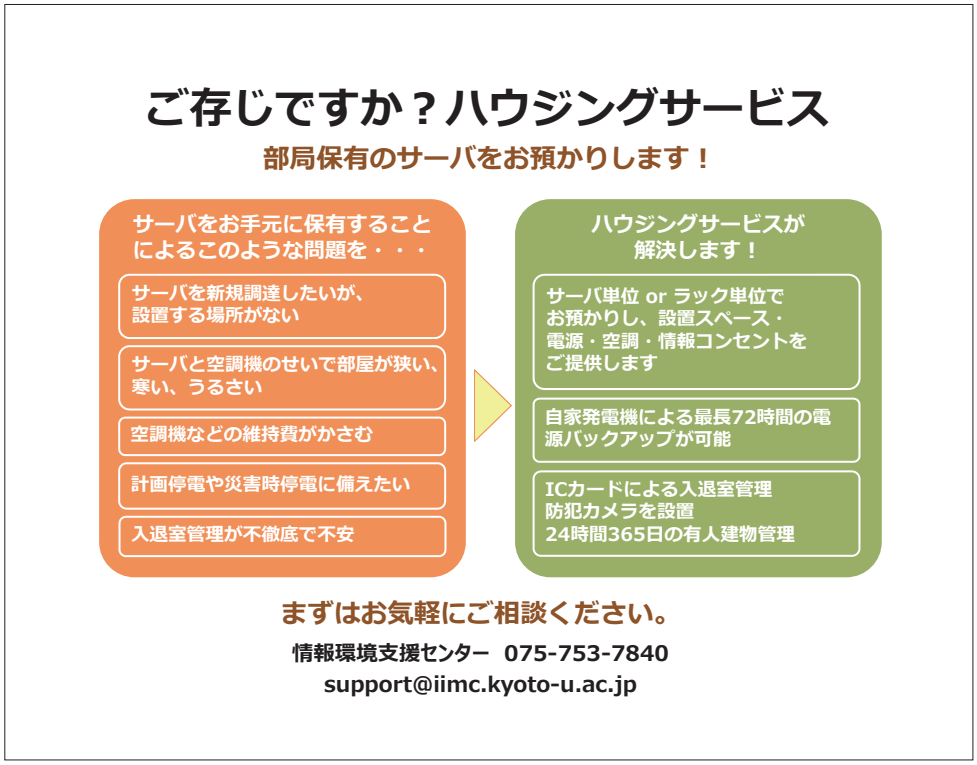
サーバをデータセンターに預ける	対象者　教職員
http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/dcs/	問い合わせ先　情報環境支援センター support@iimc.kyoto-u.ac.jp

情報環境機構のデータセンターにおいて、部局等が保有するサーバに対する設置スペース、電源設備、空調設備、情報コンセントを提供するサービスです(利用負担金が必要)。
さらに、サービスを利用したサーバに対する情報セキュリティ対策支援、データバックアップ支援をオプションサービスとして提供します(別途負担金が必要)。
ハウジングに提供する計算機室は、研究用計算機室と無停電計算機室の２種類を用意しています。無停電計算機室は、自家発電機を備えており、大規模災害時や計画停電時など商用電源が利用できない場合にもサーバの稼働が可能です。ただし、電源切り替えのためUPSはご用意ください。
データセンターにおける全学的なサーバの集約化により、空調設備などへの投資経費の削減、消費電力量の削減によるCO2 削減、物理的セキュリティの強化、情報セキュリティ対策コストの削減、信頼性の向上など効率的・効果的な運用・管理を実現できます。

ご興味を持たれた場合は、お気軽にご相談ください。

本サービスのメリット

・サーバ設置時に必要な、電源、空調、ネットワーク情報コンセント整備に対する投資が不要です。
・サーバが占有していたスペースの研究室などへの転用により、スペースの有効活用が可能です。
・空調設備など附帯設備の保守・維持、更新などの費用を削減できます。
・情報セキュリティ対策、データバックアップに関する負担の軽減が図られます。



メールホスティングサービス

メールホスティングサービスを利用する	対象者　**教職員**
http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/mail/mail_hosting/	問い合わせ先　情報環境支援センター（KUMail担当） kumail-qa@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

部局ドメイン宛てのメールを受け取り、事前に登録されたメールアドレスに転送するサービスです。利用は無料です。ただし、本サービスにはスプール機能（メール保管場所）が無いため、転送先に設定するアドレスが受信サーバを持っている必要があります。
このサービスでは、次のような利用ができますので、部局メールサーバを廃止しても、現行の部局メールアドレスをそのまま利用することができます。

・部局メールアドレスに届いたメールを全学メールアドレス（KUMail, KUMOI）に転送する。
　（例）tkyodai＠media.kyoto-u.ac.jp 宛てのメールを kyoudai.taro.9z＠kyoto-u.ac.jp に転送する。
・部局メールアドレスに届いたメールを全学メールアドレス以外に転送する。転送先は学外でもかまいません。
　（例）tkyodai＠media.kyoto-u.ac.jp 宛てのメールを kyodaitaro＠gmail.com に転送する。
・部局メールアドレスに届いたメールを複数のメールアドレスに転送する。メーリングリスト機能です。

転送設定はWebインタフェースで簡便に行うことができ、また、大量の転送設定はCSV形式のデータから一括で行うこともできます。ご興味を持たれた場合は、お気軽にご相談ください。

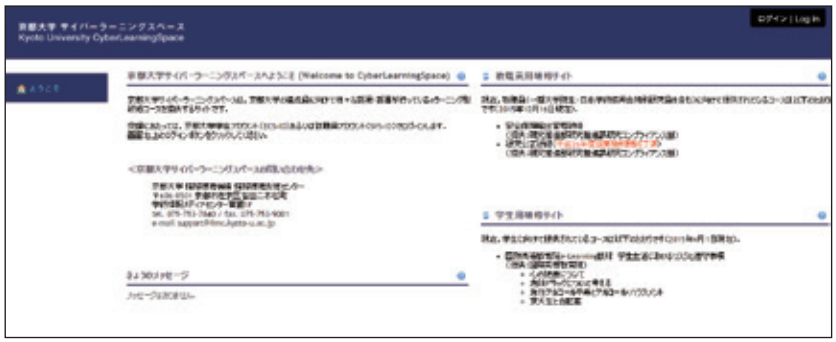
利用対象と制限事項等
・利用対象：既存の「部局等のメールアドレス」です。具体的には、kyoto-u.ac.jp配下のサブドメインに限ります。
　例：[＠media.kyoto-u.ac.jp]
・申請者：部局情報セキュリティ技術責任者からの申請に限ります。
・利用責任者：当該部局の教職員に限ります。
・利用期間：申請が承認された時点から年度末までです。次年度も継続利用を希望する場合は年度末に再申請が必要です。
　再申請が無い場合、サービス提供を停止します。

e ラーニング研修支援サービス

研修をeラーニング化する	対象者　**教職員**
http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/cyberlearningspace/	問い合わせ先　情報環境支援センター support@iimc.kyoto-u.ac.jp

本学の教職員、学生等を対象に実施される次の(1) から(3) の研修をeラーニング型研修として実施するための支援サービスで、学習管理システム（Sakai）を使っています。
⑴全学機構が全学の教職員又は学生等に対して実施する研修
⑵事務本部に置かれている部、課その他これに相当する組織が全学の教職員又は学生等に対して実施する研修
⑶部局が当該部局の全教職員又は学生等に対して実施する研修

本サービスでは、教材を作成するためのコンサルティング、システムへの教材登録、受講対象者管理、受講状況管理などの支援を提供します。
各部局等でeラーニング型研修の実施希望がある場合は情報環境支援センターまでご連絡ください。
eラーニング研修システム
https://ds.iimc.kyoto-u.ac.jp/portal/



コンテンツ作成支援サービス

コンテンツ作成の支援を受ける	対象者　**教職員**
http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/content/	問い合わせ先　コンテンツ作成室 cpt@media.kyoto-u.ac.jp

コンテンツ作成支援サービスでは、ビジュアルデザインや映像を専門とするスタッフが、大学など学術教育機関で必要とされる教育・研究・社会連携などを目的とした各種コンテンツ、プレゼンテーションツールなどを企画・制作・提供する支援を行っています。良質なコンテンツを開発するため、依頼者とのコミュニケーションを綿密に図りながら、支援にあたります。
支援にあたっては、期間、内容によって支援可能であるか判断のうえ、サービスを受け付けますので支援を希望される方はまずお問い合わせください。
支援にはかかる工数分の利用負担金が必要になります。また、コンテンツ作成には一定の期間を要し、負担金以外の費用などが発生するケースもあるため、時間の余裕をもって、できるだけ計画構想段階でご相談ください。

Webコンテンツデザイン例

社会連携イベント空間デザイン例

映像コンテンツ作成例

支援可能な分野
・印刷物などグラフィックデザイン
・イベント会場、展示などの空間デザイン
・Webコンテンツデザイン
・映像コンテンツの作成
・3DCGによる画像作成　など

iPad ペーパレス会議システム

iPad ペーパレス会議システム(ECO Meeting)	対象者　**教職員**
	問い合わせ先　情報推進課電子事務局掛

会議資料のペーパレス化によるコスト削減および資料作成作業の軽減等を目的に、iPadを用いたSaaS(Software as a Service)型ペーパレス会議システムを提供しています。
このサービスは、個別にサーバを用意する必要がなく、iPadのみあれば利用できます。
本サービスは部局単位での利用に限らせていただいています。2015年度現在、20部局、合計900台以上のiPadで運用しています。

iPadの会議システムで必須となる無線LANは、KUINS提供の学内無線LANが利用できます。部局で新たに無線LAN環境を整備する必要がなく、場所を限定せずにペーパレス会議を行うことが可能です。

その他の特徴として、議事次第機能や投票機能をはじめ、部局でニーズの高い機能を多数実装し、高度なセキュリティ対策を実施しています。

ソフトウェアライセンス管理

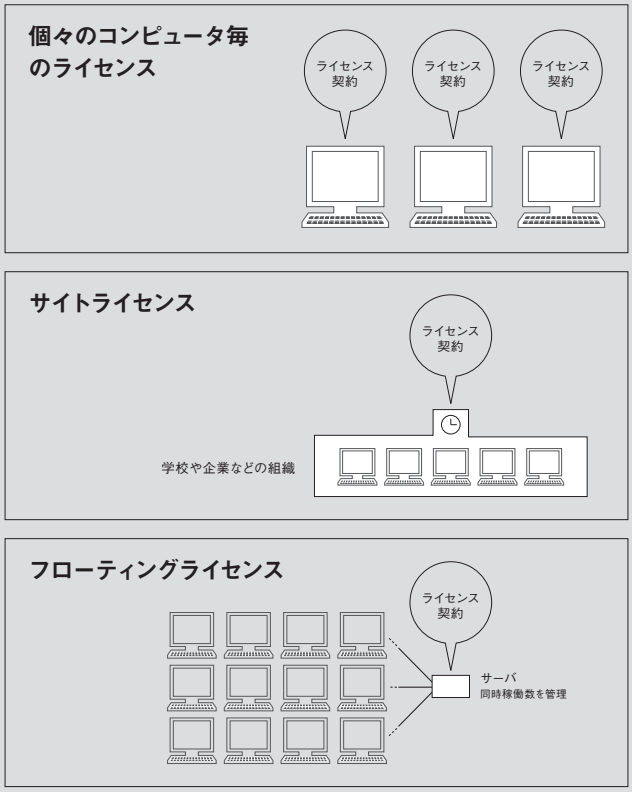
ソフトウェアライセンスを管理する http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/ismc/	対象者　**教職員** 問い合わせ先　情報推進課情報基盤掛（ソフトウェアライセンス管理担当） ismc@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

不正コピーしたソフトウェアを使用したり、許可されたライセンス数を上回る利用者で同一ソフトウェアを使用するといった行為は、ライセンス違反の対象となり、コンプライアンス違反や高額な違反金を請求されるリスクが高まります。これらのリスクを避けるためには、ソフトウェアライセンスを適切に管理する必要があります。
本学ではソフトウェアのライセンス管理は各部局で責任を持って行っていただくこととなっています。各部局におけるライセンスの管理では、部局全体を纏める部局総括管理者と、各専攻もしくは研究室を纏める管理者を選出していただき、事務系組織（技術を含む）では年２回、教育研究者組織では年１回使用状況を報告していただいています。
機構では、コンピュータソフトウェアを管理するためのツールとして、（株）内田洋行製 ASSETBASE を提供しています。
ASSETBASEには、京都大学教職員用ポータルサイト（教職員グループウェア）＞業務・規程類＞ソフトウェアライセンス管理からアクセスするか、又は下記のURL から直接アクセスしてください。
https://sam.adm.kyoto-u.ac.jp/portal/index.asp
ログインの際のＩＤとパスワードは、各部局の部局総括管理者経由でお伝えしています。（ID、パスワードは管理者用と利用者用がありますので注意してください）。
ASSETBASEは学内からのアクセスに限定しています。学外からご利用の場合は、PPTP 接続等で学内LANに接続してください。

・ASSETBASE 管理者向け説明会
ASSETBASEを利用していただくために、管理者向け説明会を開催しています。ASSETBASEのバージョンアップ等の情報も含まれていますので、管理者の方は参加をお願いいたします。

ソフトウェアのライセンス形態

コンピュータのソフトウェアは著作物として著作権法によって著作者の権利が保護されています。その利用に際してはソフトウェアの提供者との契約を行い利用許諾（ライセンシング）を受けなければなりません。
ソフトウェアのライセンスには様々な形態があります。個々のコンピュータごとの利用契約のほか、組織全体での利用契約（サイトライセンス）や、複数台のコンピュータにインストールしたうえで、同時に稼働するソフトウェア数をサーバ等で管理するフローティングライセンス等があります。
ソフトウェアの利用にあたっては利用契約に基づいた適正な利用が求められます。



ソフトウェアのライセンス契約サポート

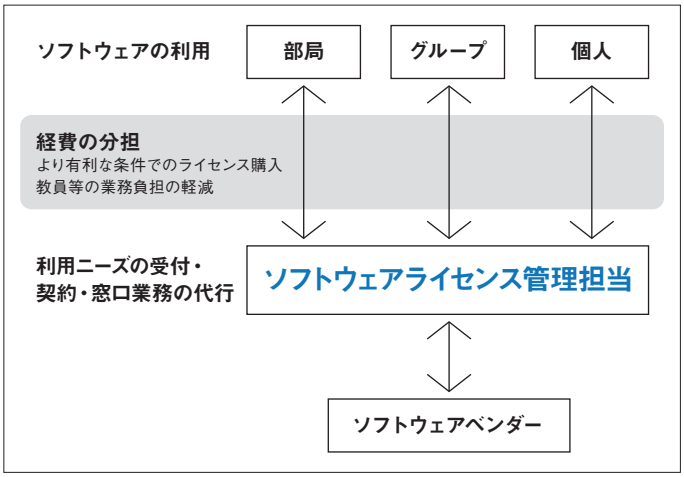
http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/ismc/

対象者	教職員・学生
問い合わせ先	情報推進課研究情報掛 740kenkyujoho@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

ソフトウェアには、① 文書や表、プレゼンテーション資料作成用のいわゆる電子文房具ソフト、② 図や写真、ビデオ、音楽編集用のマルチメディアデザインソフト、③ メールや遠隔会議用のコミュニケーションソフト、④ マルチメディア語学教育やe-learning用の教育用ソフト、といった一般的なソフトウェアから、⑤ 数式、信号処理用ソフト、⑥ 大規模高速計算用ソフト、⑦ 統計処理ソフト、⑧ 化学分析ソフト、⑨ 地理情報分析ソフトなど、専門的な教育研究に使われる専用ソフトウェアまで多種多様なものがあります。
これらのソフトウェアは、従来は各研究室、事務室が必要に応じて独自に購入し利用してきましたが、①～④の一般ソフトウェアについては、大学としてキャンパスライセンスを取得し、これを購入することによって、大学全体としてのソフトウェア購入経費が削減できます。また、⑤～⑨といった専用ソフトウェアについても、利用する研究室がまとまってグループライセンスを取得することによって、同様の効果を得ることができます。
ソフトウェアライセンス管理担当では、こういったソフトウェアライセンス取得のための学内調整、事業者との交渉、契約を行っています。

京都大学としてキャンパスライセンス契約しているもので、生協に販売を委託しているソフトウェア

- マイクロソフト包括ライセンス
  詳細につきましては、以下の京都大学生活協同組合ホームページにて公開されています。
  http://www.s-coop.net/information_seikyo/017722.php
- Adobe CLP ライセンス
- JUSTSYSTEM 教育機関向けライセンス
- symantec アンチウイルスライセンス
- ナショナルインスツルメンツ社(LabVIEW キャンパスサイトライセンス、LabVIEW Eラーニングコース、Multisimキャンパスサイトライセンス)
- モリサワフォント認定校用ライセンス



研究室等がまとまってグループライセンス契約しているもので、グループへの参加が増えるほど利用料金が安価になるソフトウェア

- MAPLE
- ChemBioDraw Ultra
- ArcGIS

研究室等がまとまってグループライセンス契約しているもので、グループへの参加が増えても利用料金は変化しないソフトウェア

- MATLAB

※その他のライセンス契約

- Apple社の教育機関向けVolume Purchase Program(VPP)

教育啓発活動

教職員、学生に対して、著作権関係セミナーの開催やソフトウェア適正利用に関するポスターの作成・配布など、ソフトウェアの著作権制度およびライセンス制度そのものに対する教育啓発活動などを行っています。
教職員・学生に対する啓発活動を行われる場合のポスター・パンフレットの請求は、ソフトウェアライセンス管理担当までご連絡ください。

活動内容

- ソフトウェアの適正管理に関するセミナー
- 教育著作権セミナー
- ポスターの掲示
- パンフレットの配布

情報環境機構 施設案内

情報環境機構では、以下の施設を設置しています。利用に関する問い合わせは下記までご連絡ください。

問い合わせ先　　情報環境支援センター　TEL 075-753-7840　support@iimc.kyoto-u.ac.jp

学術情報メディアセンター北館

オープンスペースラボラトリ（OSL）

授業で利用されるソフトウェアやセキュアな運用に配慮した教育用コンピュータシステムのPC端末約30台と非課金プリンタ1台を設置しています。これらの端末には自律学習用CALL教材もインストールされており、授業とは関係なく、開館中はいつでも自由に利用できます。

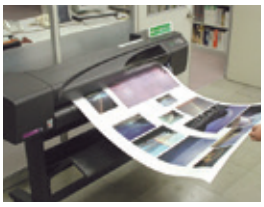
利用者からの問い合わせは内線電話を通して、南館OSLに常駐しているティーチングアシスタントが対応しています。

利用時間　平日10：00〜17：00
対　　象　本学の教職員・学生
利用申込　不要

大判プリンタ出力室

スーパーコンピュータシステム利用者のための出力サービスとして、大判プリンタ（36インチ幅ロール紙）が設置されています。

利用時間　平日９：00〜17：00
対　　象　スーパーコンピュータ利用者
利用申込　不要



学術情報メディアセンター南館

オープンスペースラボラトリ（OSL）

授業で利用されるソフトウェアやセキュアな運用に配慮した教育用コンピュータシステムのPC端末約100台と非課金プリンタ1台を設置しています。これらの端末には自律学習用CALL教材もインストールされており、授業とは関係なく、開館中はいつでも自由に利用できます。

平日はティーチングアシスタントが常駐しており、利用者の問い合わせなどに対応しています。

利用時間　平日10：00〜20：00
　　土曜10：00〜18：00
対　　象　本学の教職員・学生
利用申込　不要

語学実習CALL教室

最先端の次世代型CALL（Computer-Assisted Language Learning：コンピュータ支援型言語学習）システムを備えた教室に、約130台の端末及びAV機器、100インチの背面投射型スクリーンが設置されており、各種の外国語教育に利用されています。

利用時間　平日8：45〜18：00
対　　象　本学の教職員・学生（授業専用）
利用申込　必要

マルチメディア講義室

情報コンセントを備えた120名分の座席と100インチの背面投射型スクリーン3面や音響設備を備えています。隣接する講義室と映像および音声を結んで講義を行うことも可能です。また、高精細遠隔講義システムが設置されているので、キャンパス間や学外との間で遠隔講義を行うことも可能です。

利用時間　平日8：45〜18：00
　　（時間外は要相談）
対　　象　本学の教職員・学生（授業専用）
利用申込　必要

マルチメディア演習室

71台のPCと100インチの背面投射型プロジェクタおよび前面投影型プロジェクタ、資料の提示装置、音響設備を備えています。隣接する演習室と映像および音声を結んで演習を行うことも可能です。

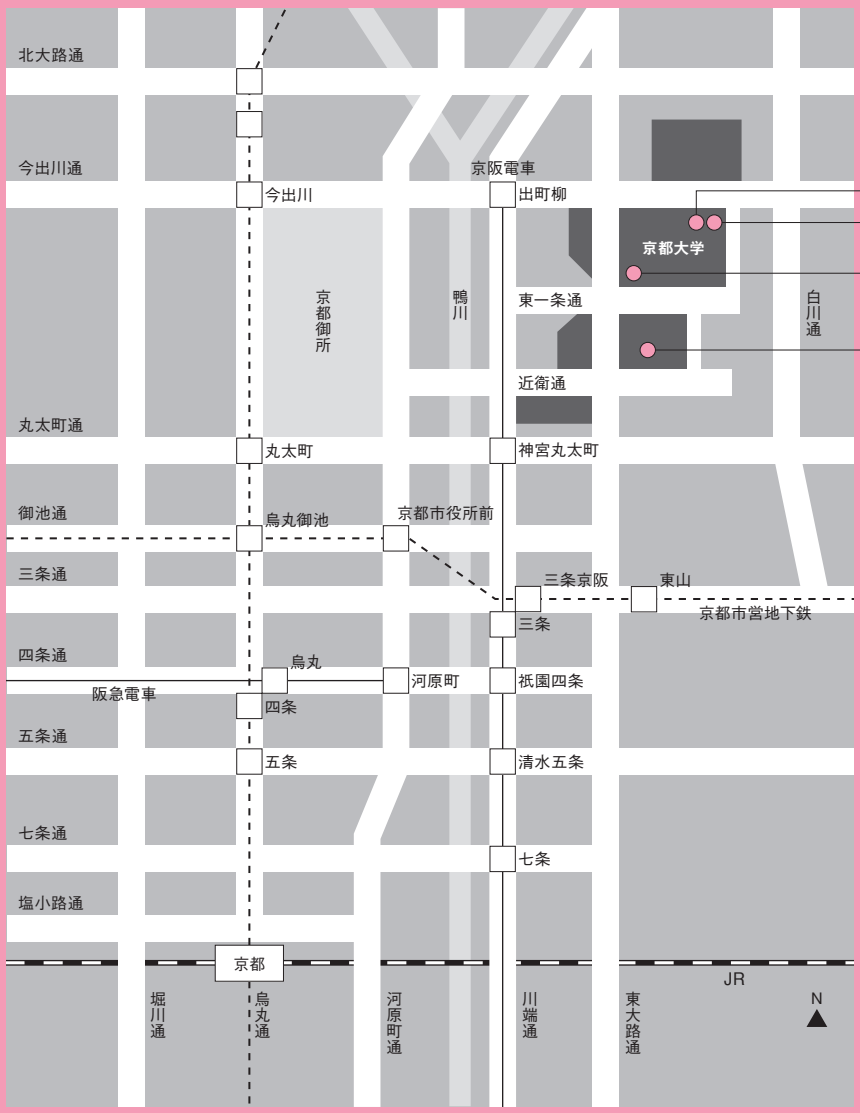
利用時間　平日8：45〜18：00
　　（時間外は要相談）
対　　象　本学の教職員・学生（授業専用）
利用申込　必要

総合問い合わせ窓口：情報環境支援センター

情報環境機構では、「本学の情報基盤の充実およびこれに基づく情報環境の整備等を推進する」ための全学組織として、学術情報ネットワーク（KUINS）、統合認証基盤、全学メール（KUMOI、KUMail）など、様々なITサービスを提供しています。
機構で提供しているこれらのITサービスに関する問い合わせや、機構に対するご要望等がありましたら、情報環境支援センターまでお気軽にご連絡ください。

情報環境支援センター

連絡先：606-8501　京都市左京区吉田二本松町　学術情報メディアセンター南館1階
TEL. 075-753-7840　FAX. 075-753-9001
E-mail：support@iimc.kyoto-u.ac.jp



総合研究５号館
学術情報メディアセンター 北館

本部棟

学術情報メディアセンター 南館
（情報環境支援センター）

京都大学情報環境機構
Institute for
Information Management and Communication,
Kyoto University

平成28年度　京都大学情報環境機構サービスガイドブック
2016年4月1日発行

京都大学情報環境機構　情報環境支援センター
〒606-8501京都市左京区吉田二本松町　京都大学学術情報メディアセンター南館1階
TEL.075-753-7840、7842　FAX.075-753-9001
E-mail　support@iimc.kyoto-u.ac.jp
URL　http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/